

三重県 ICT による産業活性化推進方針 (H29.3 策定)

三重県の産業競争力強化のため、県内中小企業等が、ICT を活用した事業活動の革新や生産性の向上に取り組むことを推進します。また、企業等がICTを活用することで、少子高齢化や人口減少など社会的課題を解決・克服し、地域産業の活性化につながる取組を推進します。



I 先導的な企業・取組の推進

自律的な企業活動を通じた県内企業のICT化を促進するため、先導的な取組を行う企業、ICT導入サポートを行う企業、スタートアップ・ベンチャー企業等の支援や育成に取り組めます。

II 事業者の ICT 活用支援

中小企業等がICTを導入・活用して事業活動の革新や生産性の向上を図ることができるよう、ICTに関する知見の共有や必要となる支援に、産学官金などが連携して取り組みます。

III 人材の育成と基盤強化

ICTを活用できる人材を育成するため、学校における情報教育の充実や社会人・求職者のICT関連能力の向上に取り組めます。また、ICT活用の基盤を強化するため、情報通信インフラの整備やサイバーセキュリティ対策などに取り組めます。

IV 社会的課題の解決

社会的な課題やニーズがあるにも関わらず、従来ではビジネスとして成立することが困難であった事業や、少子高齢化や人口減少など各産業・企業が共通で抱える課題の解決を、進歩したICTの活用により可能にすることで地域産業の活性化につなげます。

V 県による情報発信の強化

ユーザー数の多い事業者等と連携を図りながら、SNSや動画等を活用し、地域の経済・企業活動の活性化につながる効果的な情報発信に取り組めます。

三重県 IoT 推進ラボ

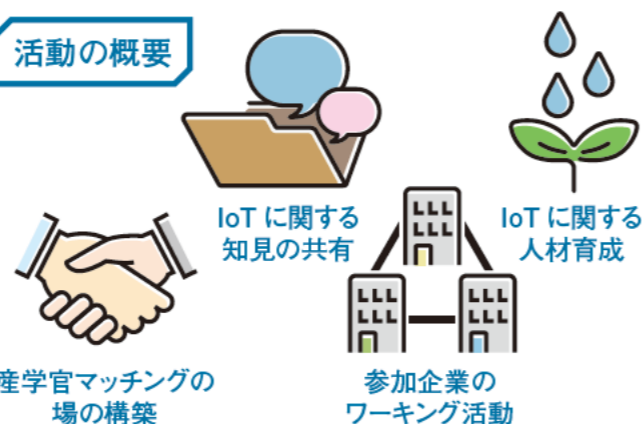
(H28.7 設立)

三重県内の中小企業や大学などが連携して、「三重県IoT推進ラボ」を平成28年7月に設立しました。本推進ラボでは、参画企業からなるワーキング活動として人材育成や新事業創出などをテーマとした先進的なプロジェクトの検討、セミナーによる情報発信や人材育成講座の実施などの活動を行っています。ご興味のある方の参加をお待ちしております。

IoT Acceleration
Mie pref Lab



活動の概要



“ICT”とは、Information and Communications Technology の略で、情報通信技術を意味し、“IoT”とは、Internet of Things の略で、あらゆるものがインターネットにつながることを意味していますが、どちらも広く情報通信やそれに関連する技術といった意味で使われることがあります。

お問い合わせ

三重県雇用経済部エネルギー政策・ICT活用課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL:059-224-2318 FAX:059-224-3024

E-mail:energy@pref.mie.jp

URL:<http://www.pref.mie.lg.jp/ENERGY/hp/energy/>

ICT活用で会社はどう変わる?



もっと早く知りたかった

ICT 活用ノウハウ・ヒント

「その課題、ICTで解決できるかも？」

ICTはあらゆる業種・分野において、実にさまざまなかたちで活用されています。業務改善・サービス向上等に課題を持ちながらも、「ICT導入でどういう効果がでるのかよくわからない・自分には関係なさそう」という方にこそ知ってほしい、三重県のICT活用推進の取組や事例をご紹介します。

三重県内 ICT 活用事例

三重県内企業のICT活用事例の一部をご紹介します。
必ずしも専門知識や専用機器が必要なわけではありません。
既存のサービスをうまく利用することもICT活用の第一歩です。
※QRコードから、オンラインで各事例の詳細を記載したPDFをご覧ください。

宿泊業 翻訳アプリで外国人の お客様とコミュニケーション

接客で外国人のお客様とのコミュニケーションに困ったときに、音声翻訳アプリを搭載したタブレット端末を利用しています。
外国人のお客様の満足度向上につながっていると思います。また、何があっても対応できるという安心感から自信をもって外国人のお客様への接客ができます。

飲食業 お席に座ったまま モバイル決済

タブレット端末と専用リーダーを使って、お客様がお席でクレジットカードによる支払ができるモバイル決済を導入しました。従来の専用システムと異なり、タブレット端末を使用しますので、低コストで簡単に導入できます。
このサービス導入後、リピーターのお客様から「楽になった」「レジに行かずそのまま帰るのがよい」というお声をいただいています。

畜産業・食品小売業 ホームページやSNS でブランディング

畜産業だけでなく、自社生産の豚肉をブランド化して小売販売もしています。商品のブランド強化や販売促進のために、ホームページやSNSを活用してインパクトのある情報発信に努めています。
最新の情報を発信できますので、宣伝広告効果を持続させることができます。ホームページなどを通じて注文をいただくケースも増えてきました。

自動車学校 タブレット端末を使った 質の高い自動車教習

タブレット端末を使ったオリジナル技能教習システムを開発・導入しました。タブレット端末では、教科書等の教材を見ることができ、教習所のコースに設置したカメラで自分の走行状態を確認できます。
教習生からの評判はよく、興味を持って教習に臨んでいただいています。また、指導員による指導内容のばらつきを改善することもできました。

電子デバイス製造業 クラウドに対応した 獣害対策の罠を商品化

県の研究機関及び地元の高等専門学校とともに獣害対策の産学官共同研究に参加し、地域のICT企業の協力も得て、クラウドによる遠隔監視や遠隔操作ができる罠を商品化しました。
商品化した罠は、全国のフォーラムやセミナーでも取り上げていただいています。獣害対策が新規事業となり、社員も2名から9名に増員しました。

金属製品製造業 工作機械の故障・トラブル をメーカーが遠隔監視

金属製品を製造する工作機械に通信機能を備えたものを使用しており、メーカーが工作機械の故障やトラブルを常時監視してくれています。
故障やトラブルを早期に発見し、工作機械を効果的に稼働させることができます。今後は、複数の機械をオンライン接続し、効率的に生産することを考えています。

水産食料品製造業 バーコードによる情報 管理で作業を効率化

お客様の発注内容と水産加工品情報をバーコードでマッチングさせながら、商品を用意し箱詰めを行うためのピッキングシステムを導入しました。
箱詰めミスが減少するとともに、送り状の同時自動発行、作業の進捗確認、必要商品の数量集計、自動売り上げ計上、仕入データ返信等、従業員の負担が軽減され、作業効率が向上しました。

労務管理や 社員の成長サポート

バス運送業 ウェアラブル端末で 従業員の健康マネジメント

従業員にウェアラブル端末を配布して睡眠時間や歩数などを把握するとともに、6ヶ月毎の健康データを分析し、健康管理のための指導や対策を行っています。
データに基づいた具体的な改善案が示されることで、従業員の姿勢が「やらされる健康」から「自ら取り組める健康」に変化しています。

生産効率の向上や 業務プロセスの改善

ICTサービス業 社内ナレッジの共有 にクラウドを活用

社内に蓄積された顧客に関するあらゆるデータや資料を集約し、クラウド環境に置くことで、スタッフが社内ナレッジを共有しています。
どのスタッフも同じレベルで顧客対応が出来るようにするには、日々のちょっとした情報まで共有することが大切ですが、このシステムでは、それがとても簡単にできるようになっています。

飲食業 ビッグデータを利用 して来店客数を予測

気象情報やインターネットアクセス数などのビッグデータを利用して、来店客数の予測モデルを開発しました。
来店客数予測に基づいて、社員の能力や人材育成を考慮したスタッフ配置を行うことができ、効率化にもつながっています。繁忙の時期を見極めて、スタッフに連続休暇を取ってもらうこともできるようになりました。

販売促進や新しいビジネスへの参入

もっと知りたい&詳しく知りたい! 活用事例、まだまだあります!

三重県IoT等利活用取組事例集

http://www.pref.mie.lg.jp/ENERGY/HP/energy/000200333_00002.htm

